



家庭数



学校ホームページもご覧ください。



綾瀬小だより

5月号

令和4年4月28日

足立区立綾瀬小学校

校長 臼田 治夫

充実したGWに

校長 臼田 治夫

まん延防止等重点措置が解除されリバウンド警戒期間が延長となりました。楽しいはずのゴールデンウィークですが、人流を可能な限り抑え、私たち一人一人の認識や行動を改めて、感染対策をしっかり行ってください。

子どもたちは現在、新校舎で新しい先生と新しい友だちの中で、大変前向きに、落ち着いた学校生活を送っています。学校は、三密回避のための活動制限こそありますが、この子どもたちの学びを止めない努力を最大限して

まいります。

これから学校では、5月9日（月）にプール開きが行われ、今年度の水泳指導が本格的に始まります。6年生にとっては、小学校生活最後の水泳指導であり、新しいプールで安全第一に楽しく学習を進めてまいります。

さて、校舎内を回る中で1年生の教室に行くと、先生の話や友達の話をしらきらと眼を輝かせながら聞いている姿があります。まさしく『耳で聴く、眼で聴く、心で聴く』といった印象を受けます。いつも子どもたちを見ていて感じるのは、自分が小学生の頃はどうかだったんだろうということです。先日の全校昼会で、「話は耳と目と心で聞こう」という話をしました。「聴」この漢字をよく見ると、「耳+目（目は横になっていますが）、それに心」が含まれています。注意深く聞くと言うのは、耳と目と心で聞くということなのです。先生方が、授業中は「相手の方を向いて話を聞きなさい」というのは、ただ聞こえてくる話を耳でキャッチするのではなく、話の内容を理解しようと目と心で注意深く話を聞きなさいという意味なのです。先日、各学級で見た皆さんは、先生の話をも、まさに耳と目と心で注意深く聞いている様子でした。

国語科の学習内容の構成として、「言語事項」は、全学年で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分かれています。「書くこと」「読むこと」ことのよさは十分に理解できるのですが、この「聞く」ということのよさを子どもたちに様々な場面で体験や経験をさせていきたいと考えています。「聞く」ということのよさはいろいろあると思いますが、私が一番にあげたいのは、「創造力」を育ててくれるということです。ニュースであれ、音楽であれ、物語であれその場面や人物などを想像することで、頭の中にいろいろなものが広がっていくのではないのでしょうか。ぜひご家庭でも休日などに、ゆったりとした時間の中で読書や家族団らんの会話から創造力豊かな体験をして欲しいと切に願います。

朝ぱれ（朝遊び）実施について

朝ぱれ（朝遊び）を5月9日（月）から7月20日（水）まで実施します。

なお、各学年で曜日を決めて行います。

詳しくは「令和4年度 朝ぱれ（朝遊び）実施について」を配布致します。ご理解とご協力をお願いします。

引き渡し訓練実施について

5月28日（土）は土曜授業日とともに引き渡し訓練の日です。災害時に備えて、保護者様によるお子様の引き渡しを行います。

ご予定をご確認の上、訓練にご協力をお願いします。詳しくは、「引き渡し訓練についてのお知らせ」をご覧ください。